

高知県立坂本龍馬記念館 令和2年度企画展

世界紙の

— 龍馬で古文書ことはじめ —

令和2(2020)年

7月7日(火) ~ 9月22日(火祝)

※展示資料に一部入れ替えあり

開館時間 9時~17時(最終入館16時半)会期中無休

観覧料 一般700円(20名以上の団体560円)

※高校生以下、高知県または高知市の長寿手帳所持者、
身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・
戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者1名は無料

主催: 高知県立坂本龍馬記念館
(公財団法人高知県文化財団)

後援: 高知新聞社・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・
読売新聞高知支局・共同通信社高知支局・
時事通信社高知支局・NHK高知放送局・
RKC高知放送・KUTVテレビ高知・
KSS高知さんさんテレビ・
エフエム高知

坂本龍馬書簡

慶応3年6月24日坂本権平宛(部分)
弘松家所蔵 当館寄託

関連企画

◆講演会「紙をめぐる土佐の文化と政治」

講師 有吉 正明(高知県立坂本龍馬記念館学芸員)

高山 嘉明(高知県立坂本龍馬記念館学芸員)

日時 9月5日(土) 13時半~15時

会場 高知県立坂本龍馬記念館新館1階ホール

定員 50名(要申込、先着順)無料

電話・ファックス・メール・HPお問い合わせフォームにて
お申し込みください。

◆担当学芸員によるギャラリートーク

日時 ① 7月25日(土) ② 9月12日(土)

いずれも14時~

申込不要(直接企画展示室へお越しください)

無料(要観覧料)



高知県立坂本龍馬記念館
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum

〒781-0262 高知市浦戸城山830

TEL 088-841-0001 / FAX 088-841-0015 / E-mail ryoma@ryoma-kinenkan.jp / HP https://ryoma-kinenkan.jp

手紙の世界

— 龍馬で古文書ことはじめ —

手紙をはじめとする古文書こもんじょで「重要なおこ」とは「そこに何が書かれているか」です。内容を
知するためには、書かれている文字を正確に読ま
なければなりません。でも、古文書を理解する
ために大切なことは、実はそれだけではありま
せん。

なぜ、この大きさ、この形の紙が使われている
のか。なぜ、紙に色がついているのか。なぜ、こん
な場所に文字が書かれているのか——じっくり
観察すると、たとえ文字が読めなくても、そ
のまわりにたくさん疑問が見つかります。こ
れらを紐解きながら、古文書について楽しく学
びましょう。

本展では、龍馬の時代の手紙を中心に、古文
書などとして遺される紙の見た目や使われ
方に注目します。その意味を知れば、幕末の
「手紙の世界」がさらに広がることでしょう。

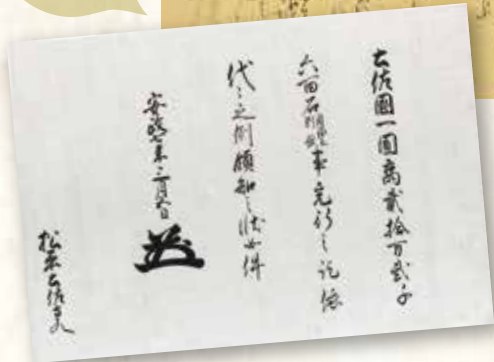
古文書と聞いて、
どのような形を
想像しますか？



京都情勢報告返翰 土佐藩京都藩邸史料 当館所蔵

幕末の土佐藩で発行された桃色の紙幣。
この色は当時の紙事情を反映しています。

紙に書かれたものではありませんが…
古文書の定義を考えてみましょう。



徳川家茂領知判物〔後期展示〕
高知県立高知城歴史博物館所蔵



老中奉書 高知県立高知城歴史博物館所蔵

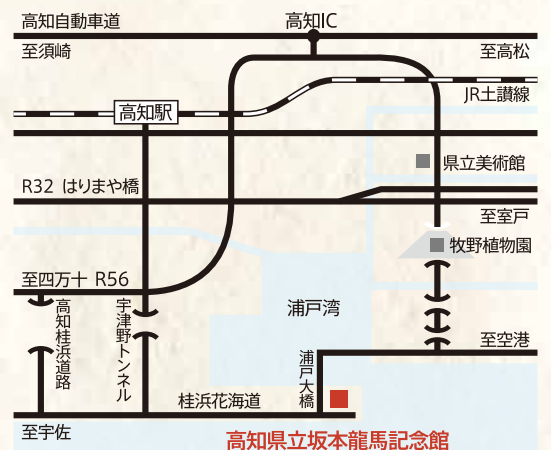
同じ紙の上下で、書かれた文字の向きが
逆さまになっています。なぜでしょう？



藩札 高知県立歴史民俗資料館所蔵



高札 高知県立歴史民俗資料館所蔵

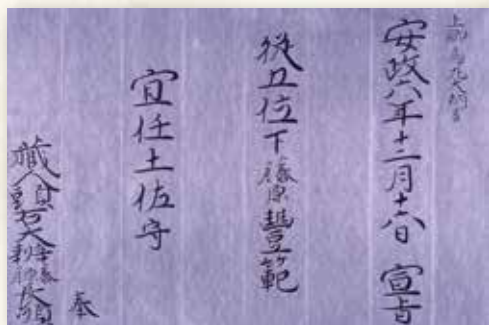


広げた状態では文字がバラバラです。
どのように使われたか、わかりますか？

朝廷が発行した文書。
薄墨色の紙に意味がありました。



包紙 土佐藩京都藩邸史料 当館所蔵



口宣案 高知県立高知城歴史博物館所蔵

- JR高知駅からさでん交通バス「桂浜」行、「龍馬記念館前」下車 徒歩約2分
- 高知駅発着で龍馬記念館などをめぐるバス「MY遊バス」(一日乗り放題)も利用できます。毎日運行
- 車・タクシー利用の場合、JR高知駅から約35分、高知空港から約25分、高知インターから約25分
- 駐車場:普通車42台(うち障害者用駐車場2台)、バス4台